

第11回「会員情報交換会(三日会)」

平成27年2月4日(水)／パシフィコ横浜 会議センター“ベイブリッジカフェテリア”

第11回は、「“未来の横浜を切り拓く” 中期4か年計画について」というテーマで横浜市副市長 渡辺巧教氏にお話をいただいた。

冒頭、協会を代表して、小澤副会長（相模鉄道(株)代表取締役社長）から「本日は、横浜市の総合計画の大きな方向性、基本ビジョンをご教示いただき、我々事業者としてどのように関わっていくべきか、共に目指すべき大きなイメージを共有できれば幸いである。会員各位の活動がさらに元気になるきっかけとなればありがたい」との主旨の挨拶があり、第1部の講演に移った。

第2部の懇親会は、当日の参加者約50名に加え、森温暖化対策統括副本部長、牧野経済局長他横浜市幹部の方にもご参加いただき、参加者相互の名刺交換、情報交換の場となった。



懇親会は予定時間を超過した交流となったが、本日の会場設営においてご配慮いただいた(株)横浜グランドインターコンチネンタルホテルの梅村社長の挨拶をもって中締め、散会となった。

【渡辺副市長の講演の概要】

このたびの中期4か年計画（2014～2017）は、初めて議会の承認を得て決定したという点で意味がある。すべては“人も企業も輝く横浜へ”という副題に集約されるが、2025年の目指すべき姿を意識した『未来のまちづくり戦略（4戦略）』、計画期間において何をするかを明確にした『基本政策(36 施策)』、そしてそれを進める土台としての組織等の『行財政運営』の3つの柱で構成。

横浜市の強みは、なにより370万人の市民力にあるが、今後の少子高齢化、人口減少社会の到来や都市インフラの老朽化対応などの未来に向けて解決すべき課題への対応、必要な投資をしっかりと進め、人や企業を呼び込んでいく、魅力と活力あふれる都市の構築に挑戦するものである。